

山口県労福協機関紙



連 合 山 口
 労 働 金 庫
 全 労 済 山 口
 県 生 協 連
 1 3 地 区 労 福 協



社団法人
 山口県労働者福祉協議会
 山口市緑町3番29号
 〒753-0078
 電話 (083) 925-7332
 FAX (083) 921-1650
 Eメール roufuku@orange.ocn.ne.jp
 発行人 加藤 栄
 編集人 清水 岩男

◆ 第31回 福祉メーデー山口県集会を開催 ◆

★スローガン「活力ある福祉社会・地域共生で暮らしに夢を」★

画協 第31回福祉メーデー山口県集会



11月13日(金)に山口市で「第31回福祉メーデー山口県集会」を開催しました。集会には連合山口・労金・全労済・生協連・各地区労福協・高退連から122名が参集しました。議長に岩国地区労福協の的場会長を満場一致で選出しました。

始めに主催者を代表して須之内会長より「本年度で労福協も40年を迎えた。発足当時は労働団体も3つに別れており、その調整役として労福協が関わってきた。苦しい時代にお互いが知恵を出し合い乗り切らなければならないとして山口県労福協は8月に住宅困窮離職者支援事業を立ち上げた。今後も労福協の活動は50年・60年と続けていかなければならない」と挨拶がありました。次に笹森中央労福協会長のメッセージと二井山口県知事の祝電を紹介しました。続いての基調報告では、11月24日に山口県に提出する「平成22年度勤労者福祉の拡充・強化と事業費助成」の要請

について加藤専務より説明がありました。事業団体からの事業報告では中国労金山口県営業本部の山根事務局長より「中国労金の現状とワンダーキャンペーンについて」、全労済山口県本部瀬光専務理事より「全労済中期経営政策」についてそれぞれ報告がありました。



その後、11月5日～11日まで中国電力「電遊館」で開催した第19回勤労者文化展の表彰に移り、写真の部最優秀北原ノブ子さん、洋画の部最優秀加戸さち子さんに賞状と記念品が贈呈されました。集会宣言、スローガンを参加者全員で確認し、第31回福祉メーデー山口県集会を終了しました。

山口県労福協設立40周年記念

記念講演と記念祝賀会開催



11月13日(金)に山口県労福協設立40周年記念講演会を福祉メーデーと行政等から126名の参加で開催しました。記念講演の講師に中央労福協笹森清会長を招き「思いをひとつに…共感の得られる労働・福祉運動」と「政権交代…民主党政権の時代」の講演がありました。

小川西部労福協会長、原山口県社協会長、山中経営者協会専務、小川・坂根労福協元会長、政策委員会、連合、労金、全労済、生協連、こころの会と各地区労福協の皆さん総勢110名の皆様の出席で40周年記念祝賀会を盛大に開催しました。須之内会長からの主催者代表挨拶の後、西村副知事と中央労福協笹森会長から来賓挨拶をいただきました。また、小川元会長と坂根前会長からは労福協会長時代の様々な苦労話を含めた祝辞をいただきました。中野連合山口会長の音頭で乾杯。歓談中にはジャズ演奏もあり、それぞれのテーブルでは活発な意見交換がされていました。加藤専務の閉会とお礼の挨拶で祝賀会は終了となりました。

協 第31回福祉メーデー山



—中央労福協 笹森会長—

笹森会長は「新たな労働運動を目指す05年連合評価委員会の提言として、共感の得られる運動の展開をしていかなければならない。組合・社会を変え、福祉運動の役割として格差社会・貧困社会のサポーターの役割を果たさなければならない。」と力説。非常に興味深い内容の講演でした。講演会終了後には山口県より西村副知事をはじめ、渡辺山口市長、

山口県労福協設立40周年



—連合山口 中野会長—

山口県へ労働者福祉拡充に関する要請書を提出



山口県労福協は11月24日(火)、山口県知事宛の「平成22年度勤労者福祉の拡充と強化と事業費助成の要請書」を須之内会長から佐本商工労働部長へ手渡しました。須之内会長は「景気・雇用情勢は非常に厳しく、労福協の生活あんしんネット事業は重要と考えている。中小企業経営も厳しいが勤労者に被害が無いよう福利厚生面も充実させたい。県か

らの力添えをお願いする」と挨拶。これに対し佐本商工労働部長から生活あんしんネット事業についての感謝の意と、「県の予算編成は先行きが不透明で苦勞している状況。要請には応えていきたいが、概算要求基準は現状の80%になると予想される」とコメントがありました。

回答交渉は2月下旬の予定です。

第3回理事会開催

～中野雅治理事から山近和浩理事に交代～

12月9日(木)に理事11名・監事3名の出席のもと、第3回理事会を開催しました。冒頭須之内会長より「鳩山内閣が発足して2ヶ月が経過したが、最近では重苦しい状況が続いている。人にやさしい政治をしてもらいたい」と挨拶がありました。次に連合山口より、11月21日の連合山口定期大会における役員交代により理事を中野雅治氏から山近和浩氏に交代する旨の届出について、理事会は次回総会まで山近氏を理事代行とすることを全員異議なく承認しました。続いて加藤専務より一般経過報告・課題別報告・上期会計報告、古都監事より監査報告があり質疑応答後に承認され

ました。議案では、新規事業「若年無業者自立支援事業」を県からの委託事業として受託することが承認されました。これは、引きこもりやニート等の無業者が農業体験や共同作業・販売実践をすることにより自立に向けた体験をしていく事業で管理者2名、指導員1名の体制で2010年4月より実施予定です。



◆◆2009年度地区労福協会長・事務局長会議開催◆◆



12月2日(水)に山口市のプラザホテル寿にて、今年度の地区労福協会長・事務局長会議を開催しました。会議には各地区労福協から会長・事務局長24名と連合山口・中国労金・全労済からの代表者が出席しました。開会にあたり、須之内会長より設立40周年記念祝賀会及び福祉メーデーが盛会裏に終了したことへの感謝の意と「労福協は労金、全労済の事業団体との連携を強めていかなければならない」と挨拶がありました。また、中央労福協も設立60周年を向かえ祝賀会が開催されたことも報告されました。次に加藤専務より一般経過報告と課題別報告があり、その後に各地区労福協より2009年度の活動報告と今後予定している活動の報告がありました。

各地区労福協からは、労金・全労済合同推進会議の開催や地区労福協の会員間の交流親睦イベントの開催、社会貢献活動の取り組み、労働セミナー等の学習会の開催の有無の報告がありました。地区労福協間で活動内容にはかなりの濃淡が見受けられるため、今後の活動に期待しています。

引き続き、山口県労働政策課安村調整監から、2011年第66回国民体育大会に向けた花いっぱい運動やボランティアスタッフの募集等

の協力要請がありました。

事業団体報告では、連合山口古都副事務局長より連合山口の当面する取り組み課題として、雇用調整助成金の内容や活用等の報告がありました。



中国労金山口県営業本部山根事務局長からは、2009年度9月末の預金および貸出金の状況・損益・自己資本比率等の報告と全国合併準備作業の進行状況の報告がありました。



全労済山口県本部の瀬川事業推進部長より上期活動報告がありました。

2010年連合山口・県労福協新春旗びらき



連合山口・県労福協共催による政策研究フォーラムと新春旗びらきを2010年1月15日(金)に山口市で開催しました。15時30分より朝日新聞編集委員の峰久和哲氏による「民意の変化と政権の行方」と題したフォーラムがあり、終了後に2010年新春旗びらきを開催しました。昨年より県労福協単独での「新春のつどい」を中止し、旗びらきを連合山口と共催しています。旗びらきには地区労福協代表者、政策研究委員会委員および連合山口関係者等が参集、盛大な会となりました。始めに連合

山口を代表し中野会長からの主催者挨拶の後、来賓の二井県知事、島田県議会議長、山口労働局長、渡辺山口市長、平岡衆議院議員より挨拶がありました。

次に県労福協須之内会長の乾杯の音頭で懇談が始まりました。和やかな雰囲気の中での懇談の後、小川元連合山口会長による万歳三唱で閉会となりました。



お知らせ

3月27日(土)28日(日)

第35回生協まつり開催!!

くらし・スポーツ・
ふれあいフェスティバル

第35回生協まつりが3月27日・28日9時30分より山口県スポーツセンター(山口市維新公園)で開催されます。アリーナではコップやまぐち杯争奪バスケットボール大会、レクチャールームは100円均一・衣料品特価・食育コーナー等、ロビーでは、地産地消・産直商品コーナー・お楽しみ抽

選会等、屋外展示では、大食堂・食べ歩き憩いのコーナー等、野外音楽堂では、ビンゴと抽選会・アンパンマンショー・侍戦隊シンケンジャー・よさこい演舞等、ミニSL等があります。ぜひご家族連れでお越しください。駐車場は、文化センター前第1駐車場・第2駐車場、陸上競技場左隣第1球技場・第3駐車場と県国際交流協会駐車場からシャトルバスが会場まで運行します。

勤労者福祉の充実・強化に関する要請行動実施

労福協は、11月17・18・19日に中小企業勤労者の福祉の向上のための要請行動を実施しました。今年度は西部地区の8市（山口・防府・宇部・山陽小野田・下関・美祢・長門・萩）を訪問し、勤労福祉共済会会長宛に「共済会事業の充実と強化に関する要請書」を提出しました。県労福協の須之内会長・加藤専務・清水事務局長に地区労福協から会長・副会長・事務局長・次長が帯同しました。景気の悪化に伴い従業員の法定外福利費の削減を図らないよう、また、ハートピア共済の広報活動を通じて積極的な加入促進を要請しました。各市からは「地場の中小零細企業は景気悪化の影響で苦しい状況だが、加入については県の普及員とタイアップして促進していく」との発言が多く見受けられました。



—山陽小野田市—



—下関市—



—山口市—



—美祢市—



—防府市—



—萩市—



—宇部市—



—長門市—

第11次山口県労働界友好訪中団

～北京・済南・九寨溝・上海を6泊7日間訪問～



10月25日(日)より31日(土)まで、第11次山口県労働界友好訪中団は、団長に連合山口中野会長、副団長に労福協須之内会長、秘書長古都連合山口副事務局記長、団員は広瀬（労金）、徳原（全労済）、国村（東洋鋼鋳）、櫻井（UIゼンセン）大塚（マツダ）、河村（神鋼特殊鋼管）、溝田（自治労）、清水（労福協）、高原（通訳）の12名で北京・済南・四川（成都・九寨溝）・上海を6泊7日で訪問しました。

山口県労福協と山東省総工会が1985年に友好交流協定を締結して以来、相互交流を続けてきましたが、今回は労福協から連合山口に友好交流を引き継ぐための訪問と位置付けていました。しかし総工会の重要な立場の方が不在のため、込み入った協議には至りませんでした。



北京では、万里の長城、オリンピック会場の鳥の巣、天安門広場、故宮を見学、済南では、山東省総工会が管理運営している総工会



管理幹部学院を視察・意見交換をしました。この学院は労働組合の幹部養成学校で、学費は年75,000円、食費は月2,000円で現在1万人の生徒が全寮制で学んでいます。



その後、山東省総工会会議室で双方の情報交換を行い友好の輪を広げました。翌日は標高3,200mの九寨溝・黄竜空港に到着。世界遺産の九寨溝を見学し、オーシャンブルーの水の素晴らしさと自然の素晴らしさは圧巻でした。6泊7日の旅があつという間で、全員無事に帰国し友好交流が終了しました。



地区労福協だより

萩・阿武地区労福協が第10回バリアフリー開催 ～在宅身障者と「みんなで楽しく遊びましょう」～

12月12日(土)に萩・阿武地区労福協は在宅身障者とその家族60名を招待し第10回バリアフリーを開催しました。この活動は、萩・阿武地区在住の在宅身障者（知的障害・聴覚障害・肢体不自由・自閉症等）を招待し、クリスマスとお正月気分を味わっていただくために毎年実施しています。萩・阿武地区労福協のボランティアスタッフは身障者の家と会場の萩病院東館大ホールとの間を朝早くから送迎しました。萩市役所組合は100人分の昼食（炊き込みご飯）と豚汁を調理し、萩市役所茶道部同好会のボランティアはお抹茶とお菓子を作りました。水引を利用したお正月飾り作りではスタッフも招待客と一緒に作品を

仕上げていました。その他、お抹茶席やプレゼント交換、記念写真撮影とボランティアは休憩なしでがんばりました。



このバリアフリーには、萩ライオンズクラブが共催し、餅つきを担当しました。



新春お年玉プレゼントクイズの解答

応募総数36名のうち、正解者30名の方に図書券（1,000円）を送付いたしました。
ご応募ありがとうございました。

＜答え＞

Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6
①お茶菓子	③つくし	②夏	①桃	①ウグイス	③小さなカップ